

「交流二段速度モータを用いたエレベーター用巻上機」が「機械遺産」に認定



認定された「交流二段速度モータを用いたエレベーター用巻上機」
(左側：巻上機、中央：交流二段速度モータ、右側：電源部)

三菱電機ビルソリューションズ株式会社（取締役社長 織田 巖、本社：東京都千代田区）は、稲沢ビルシステム製作所（愛知県稲沢市）に所蔵している「交流二段速度モータを用いたエレベーター用巻上機」が、一般社団法人日本機械学会より 2026 年度の「機械遺産」として認定されましたので、お知らせします。

1. 認定品の概要

- ・認定番号：第 136 号
- ・名称：「交流 2 段速度モータを用いたエレベーター用巻上機」
- ・製造時期：昭和 13 年（1938 年）
- ・所蔵場所：稲沢ビルシステム製作所内 SOLAÉ（ソラエ）試験塔

2. 仕様

- ・モーター仕様：交流二段速度切替式（低速：毎分 205 回転／高速：毎分 550 回転）
- ・エレベーター仕様：昇降速度分速 45 メートル、積載容量 1,600kg

3. 評価された特徴

昭和初期、エレベーターの普及には、乗り心地の良さと素早い移動の両立が求められていましたが、当時はモーターの速度を自由に調整する技術はありませんでした。1938（昭和 13）年に製造し、埼玉県北足立郡大宮町の三菱鉱業中央研究所（現：さいたま市北区、三菱マテリアル株式会社）へ納品した本巻上機には、起動・停止時には低速、移動中は高速となるように 2 つのモーターを切り替える新方式を採用したことにより快適性と高速性を両立し、日本のエレベーター技術の発展に貢献した点が高く評価されました。当社は 1935 年の第一号機以来、累計で約 34 万台（2025 年時点）を日本国内に製造・納入してまいりました。今後も、時代やお客さまのニーズに応じた製品開発を進め、安全・安心・快適な製品の提供に努めてまいります。

機械遺産について

「機械遺産」は 2007 年に一般社団法人日本機械学会によって創設され、機械技術の発展史上重要な成果や、国民生活・文化・経済・社会・技術教育に貢献した機械技術関連資産を文化的遺産として認定し、保存・継承する制度です。
機械遺産の詳細は以下をご参照ください。

<https://www.jsme.or.jp/kikaiisan/#section1>

三菱電機ビルソリューションズについて

三菱電機ビルソリューションズ株式会社は、ビルシステム事業における開発・製造から保守・リニューアルまで一貫した事業運営を行う、2022 年 4 月に設立した三菱電機の連結子会社です。昇降機（エレベーター・エスカレーター）、空調・冷熱機器、ビルシステムなど多彩なビル関連製品・サービス群とビル運用管理の豊富な経験、さらに先進のデジタル技術を掛け合わせた統合ソリューションをワンストップで提供するビルソリューションプロバイダとして、社会インフラを支えています。ビルからビル群、そして都市へと、スマートシティの実現に向けて、人と社会に寄り添ったさまざまな課題解決を通じ、ビル・都市空間における人々の豊かな暮らしに貢献します。

お問い合わせ先

<報道関係からのお問合せ先>

三菱電機ビルソリューションズ株式会社 コーポレートコミュニケーション部

〒100-8335 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

TEL 03-6206-5030 https://www.MEBS.co.jp/contact/form_others.html